

電波障害防止に関する功労者の表彰について

— 個人2件、団体1件に対し —

受信環境クリーン中央協議会（会長：寺崎 明 一般財団法人情報通信振興会理事長）は、電波障害防止に関し、顕著な功労のあった次の個人及び団体に対して表彰を行うこととしました。

なお、表彰式は、来る4月19日（金）午後5時15分からKKRホテル東京「白鳥の間」で行う予定です。

【個人】

（順不同、敬称略）

| 氏名 | 職業 | 実績の概要 |
|---------------------------------|---|---|
| おきた よういち 沖田 陽一 (永年の努力・功績) | テックス株式会社 専務取締役 | 平成3年、テックス株式会社に入社以来、駅前大規模再開発、高速道路・鉄道・橋梁高架、電力送電線、航空障害等、様々な電波障害予測調査を行い、設計から工事まで包括的に対応するとともに、アナログ周波数変更、地上放送のデジタル化、周波数リパック再編、新たな難視対策、スカイツリー移転対策等の放送の変革による電波障害防止・対策の取組に貢献した。 |
| たかい まさおき 高井 正興 (永年の努力・功績) | 一般社団法人日本 アマチュア無線連盟 電磁環境委員会委 員長 | 昭和50年代後半から、アマチュア局が原因とする放送受信障害が増加する中、(一社)日本アマチュア無線連盟の電磁環境委員会委員および委員長として、アマチュア無線に係る電波障害対応の指導や、障害原因の特定や対応策に関する実務に取り組むとともに、地上デジタルテレビ放送への移行時における技術的な防止対策の啓発活動等、電波障害防止の取組に貢献した。 |

【団体】

| 団体名 | 実績の概要 |
|--|---|
| 独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構 九州新幹線建設局 (大規模受信障害の積極的解消) | 西九州新幹線(武雄温泉・長崎間)の建設に際し、沿線住民のテレビ放送の良好な受信環境確保のため、沿線住民に対する受信障害発生時の対策等の説明を積極的に行った結果、理解と協力が得られるとともに、建設後の構造物及び新幹線列車走行によるテレビ電波受信障害についての適切な調査・予測、受信障害対策により、新幹線開業後のテレビ電波受信障害の解消が図られ、電波障害対策の推進に大きく貢献した。 |

<参考>

受信環境クリーン中央協議会では、本件表彰を昭和34年（1959）から毎年実施しており、今回で66回目となります。

連絡先：受信環境クリーン中央協議会 事務局
(一般財団法人情報通信振興会内)
(電話03-3940-3981)